



社団法人
長崎青年協会会章
我々は会員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与することを目的とする

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人長崎青年協会

スローガン 本気で語らい実行し、そして新たな歴史を創りだそう



大隅重信



福沢諭吉

今月の行事

12月28日 事務局御用納め

NYA press no.186
December 1994

12

発行 長崎市魚の町7-7
社団法人長崎青年協会
会長 桑田啓
編集 広報委員
瓜輪委員長 猿渡

11月臨時総会

平成6年11月21日 於：ホテルニュー長崎



11月臨時総会が、平成6年11月21日（月）に行なわれました。臨時総会の大きな2つの議案である補正予算と次年度役員選出の議案について、桑田会長の最後まで慎重に審議してもらえようと挨拶された後、総務委員会、城谷富好君から本日の臨時総会成立の宣言、そして議長選出、議事録作成人、署名人の選出と進み、議事審議へと移りました。

会員総数	95名	議長	井上 章君
出席者	42名	議事録作成人	倉田和彦君
委任状	23名	議事録署名人	桑田啓伍会長
総数	65名総会成立		井上貴文君

第1号議案：補正予算の承認

第2号議案：次年度役員承認

いずれも満場一致で承認されました。なお、次年度役員と各委員会の委員長は下記の通りです。

- 直前会長 桑田啓伍君
- 監事 金田芳裕君
- 〃 張 仁春君
- 〃 永田吉朗君
- 副会長 渡辺秀孝君
- 〃 伊藤克樹君
- 総務委員長 白山光男君
- 例会委員長 松島孝之君
- 広報委員長 渡部一夫君

- 事務局 長 田川俊幸君
- 企画調整室長 和田正信君
- 総務室長 井上 章君
- 会員室長 岩満克弥君
- 事業室長 岡田康信君



- 研修委員長 渋谷 晃君
- 特別事業委員長 平田雄一君
- 会員開発委員長 桜井俊郎君
- 地域事業委員長 板倉和人君
- 会員交流委員長 吉田正幸君
- 企画事業委員長 西口勝治君



桑田啓伍君



金田芳裕君



張 仁春君



永田吉朗君



渡辺秀孝君



伊藤克樹君



田川俊幸君



和田正信君



井上 章君



岩満克弥君



岡田康信君



白山光男君



松島孝之君



渡部一夫君



渋谷 晃君



桜井俊郎君



吉田正幸君



平田雄一君



板倉和人君

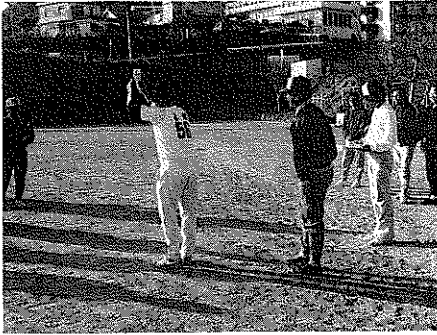


西口勝治君

来年度は以上のメンバーでスタートします。総会の最後に森直前会長がおっしゃられたように、参加人数の少ない勢いの無い青年協会であってはならないよう、会員の皆様の暖かいご支援とご協力をお願いします。

～ 11月ミニ例会 ～

11月臨時総会に引き続き、ミニ例会が行なわれました。役員報告、委員会報告の後、前日の20日(日)に行なわれました。ソフトボール大会の感想を各チームの監督に述べてもらいました。悲喜こもごものご感想が、各監督にはあったようですが、優勝した吞舞チームの合六監督は以下の様に語られました。



我がチームの勝因は3つありました。その1つは、参加メンバーが多数で選手層が厚かったことです。次に初戦を敗れたものの、監督である私が常に冷静沈着で采配を振ったことです。フィーバーパワフルチームなくしては語れない!!

まあ勝負は勝たねば意味がない! (合六監督かく語りき)
ソフトボール各監督の楽しい講評、感想が終わると、一転して真面目な社会問題の話に移りました。今、長崎県が直面している重大問題は水です。今後の水問題について、会員の皆様はどのように感じて又取り組んでいらっしゃるのでしょうか?

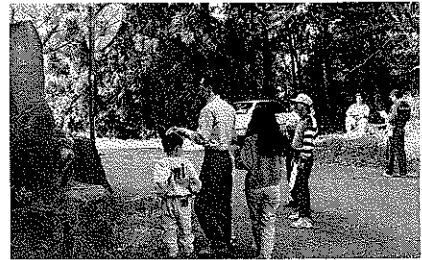
- ・ 私の家では、風呂の水を1/3にして入ることにしています。風呂の水が少ない分は、夫婦いっしょに入ることによってカバーできます。水も少なくて済むし、夫婦円満で言うことはありません。(笑) (K・S君)

他にも色々な意見が噴出しました。やはり困ったという意見が非常に多いようで、特に仕事柄、水を使うお仕事の方(クリーニング業・飲食業…etc)に深刻な影響があるようです。

長崎市役所にお勤めの馬見塚純治君の話によると、なかなか長崎では節水が思うにまかせず、やはりこのままでは年内までに水が間に合わなくなる状態になるとのことです。市の宣伝ではありませんが、会員の皆様も出来るだけ節水に取り組みましょう。

文化財探訪・ドライブツアー行なわれる

去る11月3日(日)文化の日、「文化財探訪・ドライブツアー」が行なわれました。例年11月3日は文化財清掃が実施されてきましたが、今回は企画委員会が趣向を変え、交流委員会の協力の下で家庭サービスを兼ねたものとして新たに企画されました。このドライブツアーは幾つかの文化財や史跡等をチェックポイントとして家庭単位でフィールドワークする事で、日頃、仕事に協会活動にと犠牲になりがちな、ご家庭への想い出作りが出来ればという目的で考えられました。秋日和の早朝の中、多数の会員方や、そのご家族がマイカーで長崎ポートパーク駐車場へ集合しました。ツアーの説明や注意事項等の連絡の後、各車が1台ずつスタートの合図と共に第1TPへ出発し始めました。このツアーはスピードを競うものではなく、TPや最終目的地である雲仙国民休暇村までに到着するまでの間に歴史や文化財に関係の有るクイズを解いて行き、その点数を比べ合います。



文化財を探訪する、とある家族



とっても美味なバーベキュー

雲仙国民休暇村では交流委員会が昼食のバーベキューを用意しており皆、各TPで歩き回ったせいとお腹がすいていた様で、とてもお美味そうに食べていました。昼食後はクイズの結果発表が行なわれ、またその後には家族で楽しめるゲーム等が行なわれました。ゲームは親が椅子となる椅子取りゲームや日頃の夫婦仲が分かりそうなゲームも有り皆とても楽しい祭りを過ごせた様です。この企画は、文化財を親子で探訪ね回り一緒にドライブする事で会員の家族通しの交流や家族の絆を更に深め合う事が出来た様で大変、良いものであったと思います。企画・交流の両委員会の皆さん、お疲れさまでした。

『呑舞チーム』優勝

青年協会ソフトボール大会



9月18日から雨天延期になっておりました会員とOBの親睦ソフトボール大会が、11月20日、快晴に恵まれた立山公園グラウンドにおいて、行なわれました。今回は、会員5チーム、OB1チームの6チームが参加されました。また今回は、今年卒業される4名の方に監督になっていただきました。試合は3チームずつAパートとBパートに分け総当たり方式で、それぞれのパート優勝チームが優勝決定戦を行ないました。

Aパートでは優勝候補No.1の、中村監督率いるミラバルコチームが、鉄壁の守備を誇る中尾監督率いるOBチームに、大差で敗れるという大波乱が起き、OBチームが決定戦に駒を進めました。又Bパートでは、船津監督率いるファイバーパワフルチームの善戦により、3チームが1勝1敗という接戦になりました。このため得失点差の判定により、合六監督率いる呑舞チームが、優勝決定戦に駒を進めました。

優勝決定戦は、罰金制度という制裁指揮をとる中尾監督と、選手を信頼し、最高のチームワークを誇る合六監督の采配も見物でした。試合の方はOBチームが先行し、まさかこのまま逃げきりかと思われましたが、中盤、呑舞チームが大逆転しました。しかし、今年のOBチームは、年齢を感じさせないねばりと根性で、終盤もう少しというところまで迫りましたが、チームワークで中盤の得点を守りきった呑舞チームが優勝しました。合六監督、卒業を前に大会三連覇という偉業達成おめでとうございます。

チーム名のごとく呑と舞った胸上げの時の笑顔が印象的でした。そして最後に投打に活躍された金田君がMVPに選ばれました。又特別賞に快打で呑舞チームを優勝に導いた片江君、そして、何度となくすばらしい守備を見せた中村監督、OBの栗原さんが選ばれました。

なお3位決定戦では、桑田監督の幻のホームランが出ましたが、ミラバルコチームが3位になりました。

<成績>

- 1位 呑舞チーム (合六監督)
- 2位 OBチーム (中尾監督)
- 3位 ミラバルコチーム (中村監督)
- ビックリハウスチーム (桑田監督)
- ファイバーパワフルチーム (船津監督)
- 一繕チーム (森監督)

<11月定例研修会>

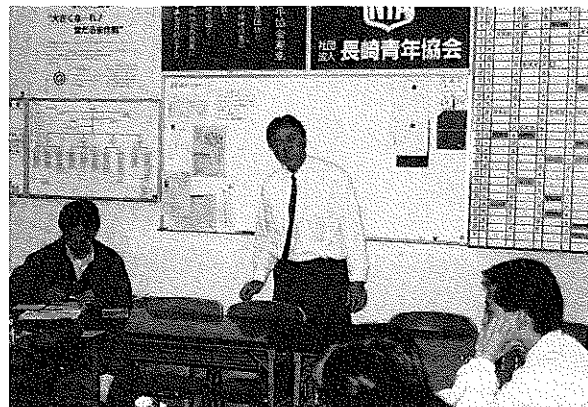
平成6年11月16日(水)

於：(社)長崎青年協会事務局

11月の定例研修会は、講師に設計事務所に勤務している交流委員会の松尾浩君を迎え、テーマは「建築業界の表裏」と題して行なわれました。

最初に、建設業の説明から始まり、建築設計事務所の役割、実際の仕事内容の話を知りやすく、またおもしろく説明して頂きました。特に興味深かったのは指名入札の説明で、実体験での失敗談やうそのような本当の話などでした。

その他にも、たくさんおもしろい話がありましたが、載せることができませんので、直接講師よりお聞き下さい。



ふうせんバレーボール全国大会

平成6年11月6日(日)

於：北九州市立総合体育館



11月6日、北九州市立総合体育館におきまして、第5回全国ふうせんバレーボール大会が行なわれました。長崎青年協会からも田川副会長、伊藤室長、平田委員長、城谷君、深瀬君、桜井君、荒内君、塩田君の8名でドリームハートさんの協力のもと、長崎ばってん協会のチーム名で出場しました。参加チームは33チーム、最初に予選リーグがあり、我が長崎ばってん協会はみごと全勝で決勝トーナメントへ進出、あわや優勝かと期待されましたが、やはり全国のカベは厚く惜しくも6位入賞で終わりました。選手の皆様本当にお疲れ様でした。

ゴルフ同好会

去る11月17日第3回桑田会長杯を長崎国際ゴルフ倶楽部にて行ないました。結果は次の通りです。ダブルベリア方式の2回目、竹中OBのアウトコースオールパープレイは見もの。後半インコースはNo.11とNo.13ダブルボギーがあるが、No.14でパー15、16は連続パーディでトータルワンオーバーの73は見事でした。優勝は船越OBそつのないプレイは従来通り。初参加の片岡氏は120ぐらいと言うことでしたが、110で上がってきた。幹事石田君は、始めて100を切ったと大喜びでした。

優勝、船越正治OB、2位竹中悟OBドラゴン。3位 馬場正勝OBにニアピン。4位 石田剛広君ニアピン、ドラゴン。以上。

人づくり街づくりフォーラム'94開催される

平成6年11月12日(土)

於：長崎東急ホテル

今年の「人づくり、まちづくりフォーラム'94」は、「住んでよか街、来てよか街」というテーマのもとで行なわれました。会場は長崎東急ホテルにて午後1時開催の予定でしたが、参加者が少ない為、少し遅れて始まりました。

まず初めに、鉄川代表幹事の挨拶が行なわれ、第1部に、今回の講師、(株)矢太楼・代表取締役社長村木榮介氏が「人を呼ぶための街づくり」という演題で基調講演を行ないました。

村木氏

長崎県外の人はどこに行きたいかを聞くと「長崎」と言う人が多い。その理由は、ロマンの街、異国文化だからとよく聞きます。では、いつ頃から人が集まりだしたのか。昔、出島ができてから南蛮貿易がはじまり長崎に行くとい異国文化を体験できるという評判から人が集まり、人が集まるからいろいろなサービスがはじまる。そこで又、長崎の地名が上がる。このように人が人を呼ぶいい形の流れが生まれる。又、迎える側の長崎の人たちは、人が集まることで物流(陸・海)が盛んになり市民が共同して仕事を行なう。そこには、宗教も関係してくるが、人に対するやさしさが生まれてくる。このようにして長崎には、人が集まってきたわけです。

第2部では、村木榮介氏をコーディネーターとして、長崎在住の5人の有識者に、自分たちの住んでいる街をもう一度見つけ直し21世紀の長崎の街づくりについて論じてもらいました。

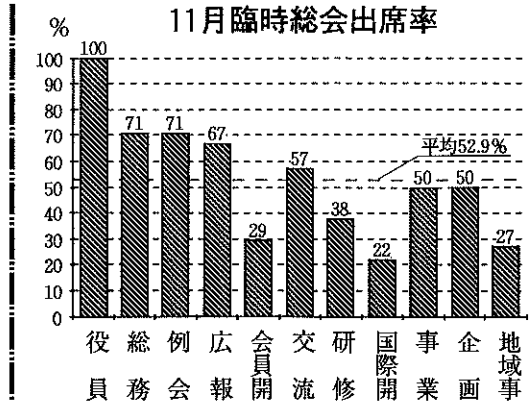
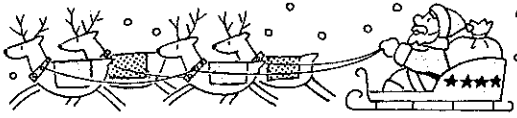
外海に10数年住んでいたサントリー(株)長崎支店長の石井氏は、学生時代に来た時とあまり変化がなく、環境の整備がされていない。新地の街づくりで大きな貢献をされた林氏からは、街おこしの中でそれを子供たちに伝承することが長崎の歴史を学ぶことにつながる。3年前に長崎に移ってこられた児童文学作家の堀さんは、街全体が洋館のたざずみを持ったロマンの街だとばかり思っていました。

県職員でもある、白トッポ組事務局長の権山氏は、おくんちを通して子供たちを育てていきたい。又、二十歳より10年間東京に住んでいた長崎市の観光を考える新世代懇話会代表の村木昭一郎氏は、地元の長崎の人は長崎に對し情緒とかロマンは感じていない。等おもしろい意見が出され約3時間に渡り多くの討論が交わされました。

今後、長崎に住む私たちは、自分たちが住んでいる街が持つ歴史を大事に守りながら住む人が住みやすい街を先につくり、そこに観光で来られた方々に対し“ウェルカムマインド”(心から迎える心)を持って迎えてあげたいと思います。

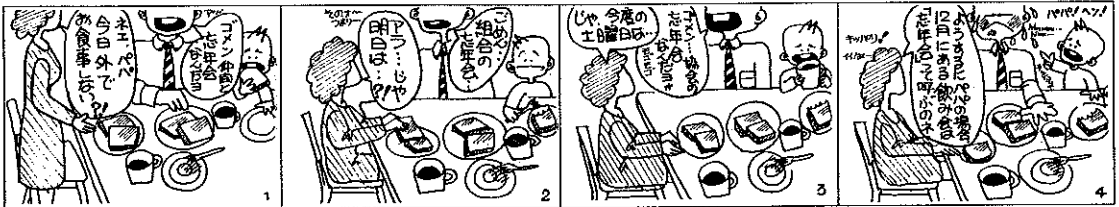


Merry Xmas



おかしBABY

「忘年会」談話(開講) 図 その年の忘れ物を忘れる事
By. Oshio



● 甦れ！歴史人物100選 (表紙説明) ●

いよいよ今年もあと僅かとなりました。お正月には、箱根駅伝や大学ラグビーを見ながら寝正月という人も多いかもしれませんが、今月は早稲田大学、慶応大学の創立者、大隅重信と福沢諭吉を紹介します。二人は時期こそ違うものの、共に中島川の近くに滞在し蘭学を学び、のちにそれぞれの大学を創立しました。彼らはここ長崎の地で何を学び何を感じたのでしょうか……。

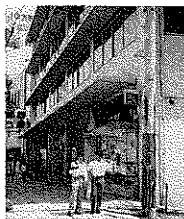
人物紹介

大隅重信 (1838 天保9～1922 大正11)
佐賀藩出身で、1864年元治元年長崎をおとづれた。東古川町に下宿し、フルベッキに就いて英語、数学等を学んだ。維新後長崎府判事として長崎に勤務したのち、外相、首相等を歴任し、また、1882年明治15年東京専門学校(早稲田大学)を創立した。

福沢諭吉 (1835 天保5～1901 明治34)
豊後中津藩士の子として大阪で生まれた。1854年安政元年来崎し、桶屋町光永寺に滞在し、蘭学を学んだ。その後、大阪に出て緒方洪庵に学び、藩命で江戸へ出たのち幕府に使えた。この間、勝海舟の咸臨丸での渡米をはじめ、欧米視察に随行し見聞を深めた。1868年慶応義塾を創設した。

ゆかりの地紹介

佐賀藩屋敷跡
恵美須町；現在の中央郵便局の場所に佐賀藩屋敷があった。大隅重信も出入りしたであろう。遊学初期は、東古川町に下宿していた。



福沢諭吉使用の井戸
出来大工町；福沢諭吉が使った井戸が今も残っている。桶屋町光永寺に滞在し蘭学の修得に励んだ。共に石碑が建てられている。

